

C-1 指導案

商業科学習指導案

石川県立珠洲実業高等学校・教諭

指導日時 平成18年5月26日(金) 6限目 教室名 商業実践室
対象生徒 情報流通科 3年生 38人(男子 19人・女子 19人)
科目名 課題研究(3単位)
使用教科書 特定教科書なし

1 研究テーマ

- (1) 研究テーマ 『生徒個々に応じたキャリア教育の推進』
(2) 研究テーマ設定の理由

内浦地区唯一の商業科として、地域経済発展に貢献できるビジネス教育を実践してきているが、近年、情報技術の向上やビジネスのグローバル化によりビジネス教育に求められる能力は多様化している。また、離職する卒業生も多く、正しい勤労観や職業観をもつ生徒の育成が求められている。そのような状況の中、個人の適性や能力に応じたキャリア教育を実践し、経済社会の発展に貢献できる人材を送り出したい。

2 単元名 「ビジネスと情報活用能力」

3 単元の目標

ビジネス分野には、企画や情報を的確に相手に伝える能力が求められることを理解し、プレゼンテーション能力の向上に取り組む。

- ・プレゼンに関心を示し、準備段階に主体的に取り組むよう努める。 【関心・意欲・態度】
- ・発表者のプレゼンを正しく評価し、自分のプレゼンに活かそうとする。
- ・事前調査や資料収集、発表形式等の選択において適切な判断ができる。 【思考・判断】
- ・伝えるべき情報を的確に伝えるスキルがあり工夫をしている。 【技能・表現】
- ・プレゼンする内容を深く理解し、伝えるポイントを理解している。 【知識・理解】

4 指導に当たって

(1) 生徒の状況

卒業後に就職を希望する生徒が半数以上おり、中でも親元を離れ都会に就職する生徒が大半である。性格的には控え目で恥ずかしがり屋の生徒が多く、上手く情報や自分の思いを発信できない生徒が多い。学習面においてはコツコツと努力することは惜しまないし資格取得には積極的に取り組んでいる。生活面でも、例えば掃除の時間などは黙々と掃除をし、サボろうとする生徒はいない。ただ、授業中の発言は少なく、人前で自分の意見を述べるのが非常に苦手である。

(2) 指導方針・方法

生徒の状況を踏まえ、ビジネスに欠かせない資質の一つ「プレゼンテーション能力の育成」を1年次からの各科目の連携した取り組みの中で実践している。併せて、情報の科学的な理解を進め、有効な情報処理機器の活用も工夫している。

(3) 教材選定の理由

本年度、3年次の課題研究は、キャリア教育と起業家教育そして知的財産権教育の3方向の総合的な学習として商品開発や市場調査・販売促進の研究をテーマのもとに取り組んでいる。年度当初、約1月の期間をかけ、各班毎に企画を練った。今回は、その企画をクラス全員に発表するプレゼンをする。単に企画発表会だけでなく、プレゼン能力の向上の機会としたい。

5 単元の指導計画（総時数 5 時間）

- 第一次 プレゼン資料（企画書）の作成 （2 時間）
 第二次 プレゼン練習（班別） （1 時間）
 第三次 プレゼン実習 （2 時間）・・・（本時 1 時間目）

6 本時の指導と評価の計画（第四次 第 1 時）

- （1）本時のねらい ・伝えるべき情報を的確に伝えるスキルがあり工夫をしている。
 ・プレゼンする内容を深く理解し、伝えるポイントを理解している。
 ・プレゼンに参加する態度、発表技術を正しく評価することができる。
- （2）準備・資料等 自己評価票・相互評価票

（3）本時の展開

時間	学習内容	生徒の活動	教師の指導・支援	評価規準【観点】(評価方法)
5 分	導入 (今時の目標の 確認)	前時の学習内容と資料を確認する。	- 企画とプレゼンの関係 を理解させ、本時の目標 を確認する。 - 発表側と聞く側のそれ ぞれの役割を発問形式 で確認する。	
5 分	展開Ⅰ (発表準備)	自己評価票・相互評価票の項目を確認し、発表の注意点を学習する。	各評価票を配布し、プ レゼン形式で評価項目 を説明する。	
3 5 分	展開Ⅱ (発表実習)	プレゼンテーション実習 各班 8 分 - オリジナル商品開発における企画 - 販売促進方法に関する企画 - 市場調査に関する企画 自己評価票の記入 相互評価票の記入 ※企画に対しての評価や意見を記入 するアンケートも行う。 アンケート用紙は、企画した班で用 意する。	評価票の記入について 助言を行うとともに、担 当教師も相互評価票を 記入する。	発表技術 - 話し方 - 発表する態度 - 発表資料の分かり やすさ 【技能・表現】 参加する態度 - 聞く態度 【関心・意欲・態度】 企画力 - ニーズをどのように 把握しているか - イメージがわかり やすいか 【技能・表現】
5 分	まとめ	発表者が簡単なコメントを述べる。 本時のまとめと次時の学習の確認を する。	各班毎における評価の まとめにたいして助言 を行う。	反省点・改善点を確認 している。 【関心・意欲・態度】